

～育児をもっと楽しく、新しい支援の形「産後ケア」～

平成27年地域政策研究センター(地域提案型・後期) 採択課題

課題名 : 岩手県中部地域(花巻市及び北上市)における産後ケアニーズ把握調査の報告
研究代表者 : 看護学部 教授 福島裕子
課題提案者 : まんまるママいわて 佐藤美代子
研究メンバー : まんまるママいわて 志田香奈
キーワード : 育児、家族、地域、産後

▼研究の概要(背景・目標)

近年、全国的に「産後ケア」が声高に叫ばれてきた中、滞在型の産後ケア施設は岩手県には1件もない状況であった。今回、岩手県中部地域における産後ケアの必要性やどんなケアが求められているかについて、妊娠・出産を経験した女性自身の声からそのニーズを明らかにし産後ケアの可能性を検討する



▼研究の内容(方法・経過)

1. 期間:平成28年3月～7月
2. 研究参加者:過去3年以内に岩手県中部地域(北上市及び花巻市)に在住し分娩した女性29名
3. 面接方法:5～6名1グループで全5グループに半構造 化面接を実施。一回90分程度
4. 調査内容:分娩・産後の状況・困難な経験、市町村の保健サービス・産後ケアに求めたいこと

▼研究の成果(結論・考察)

1. 産後の生活・育児における困難を感じている女性は多く、産後ケアは必要だと感じていた
2. 産後ケアには、多様なニーズがあることが分かった
3. 産後ケアサービスを利用するには「経済面」「移動」「手続き」サービスの利用しやすさの工夫が必要である。

結果 研究協力者の属性

	花巻市	北上市	合計
初産	9名	2名	11名
経産	7名	11名	18名
合計	16名	13名	29名

結果 インタビュー内容

自身の状況	産前産後の自身の体調や精神的また社会的な状況に困難を感じていた
市町村サービス	市町村により、母子保健サービス内容に違いがある。サービスを受け色々な意見があるが、行政へ伝える機会があまりない
産後ケアに求めること	産後ケアの需要があるが、その求める内容のニーズは多岐にわたる。経産婦からは上の子に関する意見が多かった

▼おわりに(まとめ・今後の展開)

1. 本研究で得られた成果を活かし「まんまるママいわて」では2016年10月に、花巻市に岩手県初の産後ケア施設として、産前産後ケアハウス『まんまるぽっと』を開設した。
2. 今回の調査結果を行政と共有することで、2017年4月からは、花巻市の「産前産後ケア事業」の委託を受け、活動を展開している。
3. 今後は『まんまるぽっと』利用者の声を把握しながら、岩手県中部地域における充実した産後ケア事業の在り方を、さらに検討していく予定である。